

## 公益財団法人野球殿堂博物館

芝池博明氏 専修大学時代ウイニングボール等



宮野球場「90年の歩み」を開催し、神宮球場の90年に渡る歩みを、プロ、アマの幅広く多彩な資料を用いて紹介しました。

本展開催にあたり、東都大学野球連盟を通じ、芝池博明氏(公益社団法人全国野球振興会 兵庫県代表幹事)に東都の最多勝記録41勝を樹立した専修大学時代の資料のご出品を依頼しました。

芝池氏は1965年、1年生ながら東都大学野球春季リーグで8勝を挙げ、春秋連続優勝に貢献。同年の第14回全日本大学野球選手権大会では、準決勝東海大戦で大会史上初の完全試合を達成。決勝でも立命館大を破り、

野球殿堂博物館では2016年6月3日(金)～7月12日(火)、企画展「明治神

チームを初優勝に導きました。4年生となった1968年春の亜細亜大1回戦で高橋善正氏(中央大)の記録を破り36勝のリーグ新記録を達成。同年秋には5勝を挙げ、リーグ最多勝記録を41勝としました。

当館では今回、専大時代の通算36勝、40勝、41勝ウイニングボール、第14回全日本大学野球選手権大会での完全試合達成ウイニングボールと記念トロフィー2点、スクラップブック、近鉄でのプロ初勝利のウイニングボールの計8点をご出品いただきました。連盟を通じて受領した後、御礼のお電話を差し上げたところ、今後もファンの皆さんにご覧いただきたいとのことで、ご寄贈のお申し出をいただき、当博物館のコレクションに加えさせていただきました。

これら専大時代の資料は現在、常設展示のアマチュア野球コーナーに展示中です。ぜひご覧ください。

学芸員 関口 貴広